

提供日 2023/6/19 (月) 14:00

タイトル 科学雑誌『Frontiers in Endocrinology』に
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されます。

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～ともにつくる信頼と安心の医療～

科学雑誌『Frontiers in Endocrinology』に
寺尾^{ちかし}知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されます。

1 要旨

静岡県立総合病院の寺尾免疫研究部長（理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー、静岡県立大学特任教授）らの研究論文が科学雑誌『Frontiers in Endocrinology』オンライン版（6月20日付：日本時間6月20日）に掲載されます。 ※報道解禁日：日本時間2023年6月20日午後2時・21日朝刊

2 研究タイトル

Evidence of causality of low body mass index on risk of adolescent idiopathic scoliosis:A Mendelian randomization study
(低BMIと思春期特発性側弯症の発症リスクに関する因果関係の証明：メンデルランダム化研究)

3 研究概要

思春期特発性側弯症 (adolescent idiopathic scoliosis:AIS) は脊椎が3次元的にねじれる原因不明の疾患です。遺伝的要因と環境要因が関連する多因子遺伝疾患と考えられていますが、発症の原因は不明な点が多く、病態の解明が急がれています。今回、共同研究グループは、AIS コホートとして世界最大規模の日本人の遺伝子研究の結果とバイオバンク・ジャパンが保有する日本人のBMIに関する遺伝子研究の結果を用いて、「メンデルランダム化 (Mendelian randomization: MR)」という手法でAISとBMIの遺伝的な因果関係について解析しました。その結果、遺伝的にBMIが低くなりやすい人（太りにくい人）はAISの発症リスクが高いことがわかりました。同様の傾向が日本人以外の人種にもあることから、低BMIとAISの発症に遺伝的な因果関係があることが初めて明らかになりました。本研究成果は、AISの発症に関する病態の解明につながると期待できます。

4 その他

理化学研究所、静岡県公立大学法人静岡県立大学、慶應義塾大学病院から共同リリースしております。詳細は添付資料ご参照ください。

(問合せ先) 静岡県立総合病院 総務課

静岡県葵区北安東4-27-1

電話：054-247-6111 (代)